

2-6 ウエペケレ

「パシクル ウタサ イタク ヒ アヌ」

カラスのおしゃべりを聞く

語り：貝澤とうるしの

アマチヒ アニネ オカアニケ アマチヒ ポ サク ワ
a=macihi an h_ine oka=an h_ike a=macihi po sak wa
私には妻がいて、ともに暮らしていたが、私の妻は子どもがおらず、

ポエイコイトウパアン^[1] コロ オカアン ペ ネ ルウエ ネ ア プ、
poeykoytupa=an kor oka=an pe ne ruwe ne a p,
子どもを欲しがりながら暮らしていた。

イエンコロケヘ タ シノ ニシパ ネ クル アトクイエ ネ ヒネ
i=enkorkehe ta sino nispa ne kur a=tokuye ne hine
川上の真の長者である人が私の友人で

オカアン ペ ネ ルウエ ネ ア プ、
oka=an pe ne ruwe ne a p,
私たちは暮らしていたが（そんなある日）、

「マク ネ イネ ニサプ シイエイエ ワ
“mak ne h_ine nisap siyeye wa
「どうしたことか、（川上の長者が）突然病気になって、

エネ アイエ イ カ イサム コロ アン。」
ene a=ye h_i ka isam kor an.”
手の打ちようがなくいる。」

セコロ ハワシ ハウエ アヌ。
sekor hawas hawe a=nu.
という噂を聞いた。

アトクイエ ネ ニシパ ネ パクノ イサム ニシパ ネ ア プ、
a=tokuye ne nispa ne pakno isam nispa ne a p,

私の友人である旦那で、これほどの長者はいないという人だったが、

エネ ハワシ ペ ソモ アホタヌカン ノ アナン カ エアイカピ° クス
ene hawas pe somo a=hotanukar_ no an=an ka eaykap h_i kusu

そのように聞いて私は見舞いに行かずにいられなくなったので、

アヌ…… アホタヌカラ クシ アラパアン。リトゥロレウシアン ペ ネ ワ
anu... a=hotanukar kus arpa=an. riturorewsi=an pe ne wa

見舞いに行くことにした。道中泊まりがけで

エアシリ アラパアン ペ ネ イ クス
easir arpa=an pe ne h_i kusu

なければ行けないところなので、

アレウシ チセ オツ タ アラパアニネ…… アラパアン。
a=rewsi cise or_ ta arpa=an h_ine... arpa=an.

私の宿泊小屋に行った。

ホタヌアン クス アラパアニ カムイ アヌレ ヘム キ
hotanu=an kusu arpa=an h_i kamuy a=nure hem ki

見舞いに出掛けることは、火の神にも言い聞かせ、

アマチヒ カ アコイタクムイエ イネ オラウン アラパアナ プ、
a=macihi ka a=koitakmuye h_ine oraun arpa=an a p,

私の妻にも言い残して、それで私は出かけたのだった。

なに㊦ ペツ ペシ ネ レウシ チセ オツ タ
NANI pet pes ne rewsicise or_ ta

川を下ってその宿泊小屋に

アラパアニネ アペ アアリ ヘム キ ルウェ ネ ア プ、
arpa=an h_ine ape a=ari hem ki ruwe ne a p,

私は行って火も焚いた

ラポッケへ なに ホパシ…… いや

rapokkehe NANI hopasi... IYA

というところで、

オキムネ ペツ ペシ パシクル シネプ サニネ

okimne pet pes paskur sinep san h_ine

山のほうから川に沿ってカラスが一羽下りてきて、

イエペカノ ニ カ ウン レウ。

i=epekano ni ka un rew.

私の正面の木にとまった。

オピシネ パシクル シネプ エキネ ニ カ ウン レウ イネ

opisne paskur sinep ek h_ine ni ka un rew h_ine

浜のほうからカラスが一羽飛んで来て木の上にとまって、

オラ ウコイタカウエ エネ アニ

ora ukoytak h_awe ene an h_i

なにやら話し合っているのは、こんなことで

「オピシネ エク ペ エネ ワ ネプ カ アイヌ オツ タ ヘネ

"opisne ek pe e=ne wa nep ka aynu or_ ta hene

「浜のほうから来たものよ、何か人間のところや、

カムイ オツ タ ヘネ アエラナク ペ イサム ヤ？」

kamuy or_ ta hene a=eranak pe isam ya?"

神様のところで心配なことはないかい？」

セコロ オキムネ エク パシクル ハウエアナクス

sekor okimne ek paskur hawean akusu

と山から来たカラスが言うのだった。

ソモ カ エネ ハウオカ クナク アラム コロ

somo ka ene hawoka kunak a=ramu kor

まさか、そう言うと思わないながらも

イコカヌアナクス

ikokanu=an akusu

私は盗み聞きをしていたところ、

アイヌ イタク ハウ ネノ カネ

aynu itak haw neno kane

まるで人間の言葉のように

「アイヌ オッ タ…… わ…… カムイ オッ タ アナク

“aynu or_ ta... WA... kamuy or_ ta anak

「神様のところでは

ネプ カ アエラナク ペ カ イサム コロカ

nep ka a=eranak pe ka isam korka

何も心配事はないけれども、

オラウン パテク アエラナク ペ ネ アン ペ

oraun patek a=eranak pe ne an pe

これだけが心配事としてある。というのは、

なに テ タ エク ワ レウシ ワ アン クル ウニヒ ハラキシケヘ ワ

NANI te ta ek wa rewsu wa an kur unihi harkisokehe wa

ここに来て泊まっている人の家の左座から

チセ シッケウ カランケヘ

cise sikkew karankehe

家の角に近いところに

オヤチキ ネシコ エトイタ ヒネ アナアン ペ

oyaciki nesko etoyta hine an aan pe

どうやらその人がクルミを植えていたのだが、

ネ ネシコ チセ コロ クル ホッケ ウシケヘ

ne nesko cise kor kur hotke uskehe

そのクルミの木は家の主人が寝ているところの枕の下に

エニヌイペ チョロポッケ ウンノ シンリチ シトゥリ イネ アン。

eninuype corpokke unno sinrici situri h_ine an.

その根っこが伸びていて、

ネワアンペ コロ いたんちら アニ

newaanpe kor ITANCIRA ani

それ（クルミの木）のいたずらで

マチヒ オッシケ アラカ ヒネ エアラキンネ アエキマテク コロ シラン。

macihi ossike arka hine earkinne a=ekimatek kor siran.

その奥様がお腹を痛めて、大変狼狽されているご様子なのだ。

パテク タシ ネ ネク。」

patek tasi ne nek.”

それだけが心配だなあ。」

セコロ ハウエアン オピシネ ワ エク パシクル キ。オラウン

sekor hawean opisne wa ek paskur ki. oraun

と浜から来たカラスが言った。それで、

「オキムネ サン クル エネ ワ ネプ カ アイヌ オツ タ エネ

“okimne san kur e=ne wa nep ka aynu or_ ta h_ene

「山からやって来たお前さんは、何か人間のところでも

カムイ オツ タ エネ ソモ アエラナク ヤ？」

kamuy or_ ta h_ene somo a=eranak ya?”

神様のところでも心配事は無いのかい？」

セコロ カネ ハウエアナクス オピシネ エク ペ ハウエアナクス

sekor kane hawean akusu opisne ek pe hawean akusu

と浜から来たカラスが言ったところ、

オキムネ サン パシクル エネ ハウエアニ

okimne san paskur ene hawean h_i

山から下りて来たカラスが言うことには、

「カムイ オツ タ アナク

“kamuy or_ ta anak

「神様のところでは

ネプ カ アエラナク ペ イサム コロカ オラウン

nep ka a=eranak pe isam korka oraun

何も心配事は無いけれども、

パテク アイヌ オツ タ アエラナク ペ ネ アン ペ

patek aynu or_ ta a=eranak pe ne an pe

ひとつだけ、人間のところで私が心配しているのは、

エネ アニ アエシンパイ カムイ フチ オロ ワ

ene an h_i a=esimpay kamuy huci oro wa

このようなことだ。火の神から

アヌ ワ キ カトウ エネ アニ

a=nu wa ki katu ene an h_i

聞いて心配していることなんだが、

テ タ エク ニシパ ホタヌカラ クス

te ta ek nispa hotanukar kusu

ここに来た旦那が見舞いに

アラパ ニシパ マチヒ ムン ヌパ コロ

arpa nispa macihi mun nupa kor

行く長者の、その奥さんがゴミを掃いても

ルトムンキ パク カパツ トウムン ムン ヌパ ワ

rutomunki pak kapar_ tumun mun nupa wa

土間のござのところまで、薄い塵やゴミを掃き、

オラ ウレ…… ウレナバ^[3] ピシカヌン トウムン ルトゥルトウ ワ

ora ure... urenaba piskan un tumun raturutu wa

それで両側の戸口の周りに塵を掃いてずらして

ネノ アヌ ワ アン。

nenō anu wa an.

そのままにして置いていて、

ネワアンペ アパサムンカムイ イルシカ ヒネ クス

nēwaanpe apasamunkamuy iruska hine kusu

それで戸口の神様が怒ったために

チセ コロ クル ヤイヌミウエニネ

cise kor kur yaynumiwen h_ine

家のご主人が病気になってしまった。

ネワアンペ パテク タシ アエラナク ネク。」

nēwaanpe patek tasi a=eranak nek."

それだけが唯一私は心配だなあ。」

セコロ カネ ハウエオカ。エアラキンネ イオクンヌレアン。

sekor kane haweoka. earkinne iokunnure=an.

ということを口々に言っているのだった。私はとても驚いた。

ヘカッター カ ウサ ニヌム ウイナ パ シリ

hekattar ka usa ninum uyna pa siri

子どもたちがクルミの実などをとる様子を

アエランポキウエン クシ アレス プ ニシコ ネ アワ

a=erampokiwen kus a=resu p nisko ne awa

私は憐れんだために、私が育てたのがクルミの木だったのだが

エネ ハワシ アン

ene hawas h_i an

このような話があるのか、

セコロ ヤイヌアン コロ アナン ルウエ ネ イネ オラウン コント

sekor yaynu=an kor an=an ruwe ne h_ine oraun konto

と私は思っていた。とはいえ、

クシ エカン ペ ネ プ、

kus ek=an pe ne p,

私が来た理由であるのだし、

ホタヌ ウシ ウン ホシキ アラパアン セコロ ヤイヌアン。

hotanu usi un hoski arpa=an sekor yaynu=an.

見舞いをするところへ先に行くべきだと私は思った。

オラウン オピッタ ホブンパ イネ イサミ クシ

oraun opitta hopunpa h_in e isam h_i kus

それでカラスはみんな飛んで行ってしまったので

ホタヌ オウシ ウン ホシキ アラパアニネ

hotanu ousi un hoski arpa=an h_in e

見舞いの目的地にまずは向かい、

オヌマン シレパアニ クス

onuman sirepa=an h_i kusu

夕方に私は到着した。それで

「アコン ニシパ マク キ^[4] ハウエ アン ワ

“a=kor_nispa mak ki hawe an wa

「私の友人の旦那様に変なことがあったという噂を聞いて、

アエキマテク クス アホタヌカラ クス エカン ルウエ ネ ワ

a=ekimatek kusu a=hotanukar kusu ek=an ruwe ne wa

私はそれに驚いたので見舞いに来たのです。

ソネ ウパキタラ ネ ヤ?^[5]」

sone upakitara ne ya?”

やはりお変わりありませんか？」

セコロ ハウエアナナクス

sekor hawean=an akusu

と私は言う

「エアラキンネ イタク カ ヌクリ、イペアン カ ヌクリ。

“earkinne itak ka nukuri, ipe=an ka nukuri.

「本当に話すのもつらい。食事をとるのもつらい。

エアラキンネ アネオロ アラカ フミ ネ ヤ アエラムシカリ ノ

earkinne a=neoro arka humi ne ya a=eramuskari no

まったく私のどこが病に侵されているのかわからず、

アヤイヌミウエン ワ エネ イキアニ カ イサム コロ

a=yaynumiwen wa ene iki=an h_i ka isam kor

病に苦しんでどうすることもできずに

アナン ルウエ ネ アワ

an=an ruwe ne awa

いたところなんだが

アコン ニシパ ヒナク ワ ヌ イネ エク ハウエ アン?

a=kor_nispa hinak wa nu h_ine ek hawe an?

旦那様はどこから話を聞いていらっしゃったのですか。

アコン ニシパ エク チキ ソモ イエイノンノイタカク

a=kor_nispa ek ciki somo i=eynonnoitak y_ak

旦那様がいらっしゃったからには、祈ってもらわないで

ピリカ ハウエ ヘ アン？」

pirka hawe he an?”

良いと言えましょうか（お祈りしていただきますよう。）」

セコロ ハウエアン ヒ クス オラウン

sekor hawean hi kusu oraun

と言うので

イタカナウエ エネ アニ……

itak=an h_awe ene an h_i...

私が話したことは……

ホプニアニネ ウレンアパ サム ネプ ポカ オ ワ オカイ ペ
hopuni=an h_inē uren'apa sam nep poka o wa okay pe
私は立ち上がって、両方の戸口になんでも置いているもの

ウレナパ ピシカン アパ サムン イナウ アロシキ ワ
urenapa piskan apa sam un inaw a=roski wa
両側の戸口のまわりや戸口の傍の御幣が立てられて

オカ ウシケ インカラナクス
oka uske inkar=an akusu
いるところを眺めると、

ソンノ カ アパ サム タ アロシキ チェホロカケプ ノシキケ パクノ
sonno ka apa sam ta a=roski cehorkakep noskike pakno
やはり本当に、戸口の側に立てられた逆さ削りの御幣のその真ん中まで

トゥムン リキン パク ウサ トゥムン ウサ ムニヒ アルツパ ワ
tumun rikin pak usa tumun usa munihi a=rutpa wa
塵がのぼるくらい、いろいろな塵やゴミが掃きだめられ、

ネノ オカ ワ オカイ ペ ネ アン ヒ クス
nenō oka wa okay pe ne an hi kusu
そのままになっているので、

コント イルシカアン コロ アハウエコイキ
konto iruska=an kor a=hawekoyki
私は怒り、

ネア チセ コロ メノコ キ コロ
nea cise kor menoko ki kor
その家の女を私は叱ると、

アパサムン カムイ アエタイパ ヒネ
apasamun kamuy a=etaypa hine
戸口の神様の御幣を私は抜き取って、

オカケへ アケレケリレ、アムンヌパレ

okakehe a=kerkerire, a=munnuhare

その後をその女に掃かせ、ゴミを掃かせて、

ウレナパ ピシカン キ コロ イタカナウエ エネ アニ、

urenapa piskan ki kor itak=an h_awe ene an h_i,

両側の戸口の周りを掃かせながら、私はこう言った。

「カムイ イェプ アヌ ワ エカン ワ

“kamuy ye p a=nu wa ek=an wa

「神様が言うことを私は聞いて来て

イルシカアナウエ ネ クス

iruska=an h_awe ne kusu

私が怒ったのですから、

アエカ…… アコン ニシパ イテキ イルシカ アク ピリカ。

aeka... a=kor_nispa iteki iruska y_ak pirka.

旦那様、あなたは怒らないでください。

フンナ カッチャマ フンナ プリヒ エネ オカ ヒ

hunna katcama hunna purihi ene oka hi

どこにこんなことをするやつがいるというのか、

ムンヌパアン コロ アパ サムン アオライエ ワ

munnuhare=an kor apa sam un a=oraye wa

ゴミを掃いて、そのゴミを戸口に寄せて、

ネノ アアレ プ ネ ワ アパサムン カムイ オムンポク^[6] ワ

nenno a=are p ne wa apasamun kamuy omunpok wa

そのようにおいていて、戸口の神様がゴミに埋もれ、

ネワアンペ カムイ イルシカ アニ

newanpe kamuy iruska ani

それを神様が怒ったために

アコン ニシパ ヤイヌミウエニネ
a=kor_nispa yaynumiwen h_inē
旦那様が病気になり、

アヌ ワ エカン ルウエ ネ ワ クス
a=nu wa ek=an ruwe ne wa kusu
私はそれを聞いてきたので、

ニウエナナウエ ネ ナ。」
niwen=an h_awe ne na.”
ひどく怒っているのですよ。」

セコロ ハウエアナン コロ
sekor hawean=an kor
と私は言いながら、

ネア メノコ アコパシロタ、アコサカヨカラ コロ
nea menoko a=kopasrota, a=kosakayokar kor
その女を私がののしり、怒鳴りつけ、

アムンヌパレ、トゥムン ソヤオレ
a=munnapare, tumun soy a=ore
ゴミを掃かせ、ゴミを外に出させた。

オラウン アパサムン カムイ アロシキ、
oraun apasamun kamuy a=roski,
それで、戸口の神様を私は立てて、

チセ トウム (?) アエロシキ イネ
cise tum(?) a=eroski h_inē
家の壁に (?) さして、

オラウン カムイ フチ エウン カ ヤヤパプアニ アイエ。
oraun kamuy huci eun ka yayapapu=an h_i a=ye.
火の神様にもお詫びを述べ、

ネア ニシパ アエイノンノイタク ヒ アイェ ルウエ ネ オラウン
nea nispa a=eynonnoytak hi a=ye ruwe ne oraun
その旦那に祈りの言葉を述べました。

ナニ シオカポタラアン ノ イヌアン ペ ネ クス
nani siokapotara=an no inu=an pe ne kusu
そうすると、すぐに私は留守を案じ聞いたものだったから

コント ナ チュプ リ イネ シレパアン ペ ネ クソラウン
konto na cup ri h_ine sirepa=an pe ne kus oraun
まだ日が高いうちに到着していたので

「テ ワノ カ ネノ エイキ ヤカナクネ エカン ワ
“te wano ka neno e=iki yak anakne ek=an wa
「これからもそのようにお前がすれば、

アエウエンパカシヌ クシ ネ ナ。」
a=e=wenpakasnu kus ne na.”
私が来てひどく懲らしめますからね。」

セコロ ハウエアナン コロ アコパシロタ、アコサカヨカラ コロ
sekor hawean=an kor a=kopasrota, a=kosakayokar kor
と私が言っののしり、友人の旦那の妻を怒鳴りつけると、

「ヘシト ヘシト エネ ネ ワ クス ネプ カ アイェ コロ
“hesto hesto ene ne wa kusu nep ka a=ye kor
「そらみたことか、こんなことだから何か俺が言っても

エヌ ハウエ カ イサム ペ ネ アクス
e=nu hawe ka isam pe ne akusu
お前は聞きもせずについて、すると

アコン ニシパ アン クシケライポ
a=kor_nispa an kuskeraypo
旦那様がいらっしやった。そのお陰で、

ネン ポカ ネ アコイ セレマカ アコロ ハワシ ハウエ ネ。

nen poka ne a=kor_ sermaka a=kor hawas hawe ne.

どうにか私に守護神がつくことになったということなのだ。

エカムイシコエパクテ。

e=kamuysikoepakte.

お前が神様の罰を招いたのだ。

ネワアンペ イヤラパレ ルスイ クス エネ エイキ ヒ アン？」

newaanpe i=arpare rusuy kusu ene e=iki hi an?"

その罰で私を殺したくてこんな真似をしたのか？」

セコロ アン コロ イルシカ、パラマウ アニ ネ コロカ キ オラ

sekor an kor iruska, parmaw ani ne korka ki ora

とその長者は息絶え絶えにも怒った。

アエイノンノイタク ヒネ オラ ヤイキマテッカアニネ

a=eynonnoitak hine ora yaykimatekka=an h_ine

私が祈りを捧げて、急いで

サナン ルウエ ネ アクス

san=an ruwe ne akusu

山を下りると、

エアラキンネ ソンノ カ アマチヒ ホ…… オッシケ アラカ イネ

earkinne sonno ka a=macihi ho... ossike arka h_ine

やはり本当に私の妻がひどくお腹を痛めていて

アエウキマテッカ コロ シラニ クス

a=eukimatekka kor siran h_i kusu

それでみなが慌てている様子であったので、

シレハウエコイキアナウエ エネ アニ、

sirehawekoyki=an h_awe ene an h_i,

私はこう怒鳴りつけた。

「タアン ネシコ トオ キキンニ^[7] ウサム タ ロシキ プ

“taan nesko too kikinni usam ta ros ki p

「そのクルミの木とあのキキンニは隣同士に生えているが、

キキンニ カ ネシコ カ

kikinni ka nesko ka

キキンニもクルミの木も

ポン シンリチ ウンノ プシパ ワ イコレ ヤン イコレ ヤン オラ

pon sinrici unno puspa wa i=kore yan i=kore yan ora

若い根っこまで掘り起してくれ。

チセ チョロポクン シネ シンリチ シトウリ

cise corpok un sine sinrici situri

軒下に一本の根が伸びて

ワ アン ハウエ アヌ ペ ネ クス

wa an hawe a=nu pe ne kusu

いるという話を聞いたものだから、

シンリチ エチコシロウリ エチエタイェ ワ エチイコレ プ ネ ナ。」

sinrici eci=kosirowri eci=etaye wa eci=i=kore p ne na."

お前たちはその根に対して地に穴を掘り、根を引っ張ってくれ。」

セコロ ハウエアナン。

sekor hawean=an.

と私は言った。

オッカイポ ウタン ナニ エウキマテッカ プ ネ クス ネノ イキ パ イネ

okkaypo utar_ nani ewkimatekka p ne kusu neno iki pa h_ine

若者たちはそれでみな慌てて、私の言ったようにした。

キキンニ クル…… カ (?) トオ ネシコ アエトイタ ワ アン ペ、

kikinni kur... ka(?) too nesko a=etoyta wa an pe,

キキンニも…… (?) そのクルミの木も私は植えていたのだが、

ポン シンリチ アコブシプス イネ

pon sinrici a=kopuspusu h_inē

その若い根ごと掘り起し

オラウン アパ ポクン ミンタラ ケスン アトウイパトウイパ ヒネ

oraun apa pok un mintar kes un a=tuypatuypa hine

戸の下に、庭の下手へそれを切り刻んで、

アムンコウファイカ、イルシカアン コロ

a=munkouhuyka, iruska=an kor

私はゴミと一緒に燃やし、

アムンコウファイカ ルウェ ネ イネ

a=munkouhuyka ruwe ne h_inē

怒ってゴミと一緒に燃やし、

オラ アマチヒ アエイノンノイタク ルウェ ネ クシケライ オラ

ora a=macihi a=eynonnoitak ruwe ne kuskeray ora

それで私の妻に私は祈りをささげたおかげで、

アマチヒ カ シクヌ ルウェ ネ。

a=macihi ka siknu ruwe ne.

私の妻も命拾いしたのだった。

オラ ネア ニシパ カ アエイノンノイタキ ナニ オラウン

ora nea nispa ka a=eynonnoitak h_i nani oraun

それで、例の長者にも私は祈りを捧げて、すぐに

ヤイヌミピリカ ワ ソレクス ウェニヨクンヌレアン ペ ネ クス

yaynumipirka wa sorekusu wenyokunnure=an pe ne kusu

体調が回復して、それで私はひどく懲りたので、

クスリ ネ アエニシテ プ キキンニ ネ ヤッカ

kusuri ne a=eniste p kikinni ne yakka

薬として頼られているキキンニであっても

キキンニ チセ オウシ タ チセ カランケ イテキ アエトイタ。

kikinni cise ousi ta cise karanke iteki a=etohta.

キキンニの木は家のすぐそば、家の近くに植えるものではない。

オラウン ネシコ カ イテキ チセ カランケ アエトイタ プ ネ ヒ

oraun nesko ka iteki cise karanke a=etohta p ne hi

クルミの木も家の近くに植えるものではない、ということの

トゥ モトオロケ レ モトオロケ アヌ ワ クス

tu motoorke re motoorke a=nu wa kusu

由来を聞いたので

スクプタラ アエパカシヌ ハウエ ネ ナ ヌ ヤン

sukup utar a=epakasnu hawe ne na nu yan

大人たちに私が教えることであるから聞きなさい。

セコロ シネ ニシパ イソイタク。

sekor sine nispa isoytak.

とひとりの長者が語った。

【注】

- [1] poeykoytupa : 「子どもを欲しがる」という一項動詞 (< po-eykoytupa 子ども・を欲しがる) 。
- [2] NANI : 貝澤とうるしのさんの言い癖で、フィラー (「ええと」「あの一」等) の一種。
- [3] urenapa は、「uren-apa 両側・戸口」と解釈したが辞書などに該当する語が見つからない。
- [4] mak ki という言い方は木村きみさんも使用する。
- [5] upakitara は、「変わりなく、今までと同じように」(『萱野辞典』 p. 115) や「相変わらず」(『久保寺辞典稿』 p. 295) とある。この解釈は、どの状態から「変わらない」のかという点で検討を要する (例えば、「お変わらないですか=元気でしたか」、「噂通り病に伏しているのですか」、「病は快方に向かっているのですか」など) 。
- [6] 発音としては omonpok に近いが不明。
- [7] kikinni : ここで言う kikinni は、エゾノウワミズザクラのこと。 ; 「パコロカムイ (流行病の神) が寄らないように、寄っても長く休まれないようにつくさい物、水桶さきキンニ入れた」(財団法人アイヌ民族博物館 (編)、1999 『アイヌ民族博物館伝承記録 4

川上まつ子の伝承―植物編 1―』 1 : p. 30-35)